

# 七校便り

宮城県白石高等学校七ヶ宿校  
No. 46  
平成25年 8月 1日

## インターンシップ

7月23日(火)から25日(木)までの3日間、最大の進路行事であるインターンシップに、七校の生徒全員が取り組みました。

### 1年 林 史弥(関保育所)



高校に入ってから初めてのインターンシップでした。最初は、緊張していました。子供の扱いも分からないので、どうしようかと思っていました。緊張していましたが、実際に子供達と遊んでみたら、全然違いました。子供達から、「高い高いして」とか「肩車して」とか言われて、緊張もほぐれました。子供達と水遊びをしたのは、すごく楽しかったです。子供達に水を掛けられて、服をビショビショにされたのが一番思い出に残っています。

もう一つ思い出に残っていることは、子供達の素敵な笑顔です。あの笑顔を見ると、癒されてしまいました。やっぱり子供は可愛いなと思いました。

関保育所でのインターンシップは、本当に自分にとって良い体験だったと思います。一番大切なことは挨拶だと、園長先生が教えてくれました。これからも、挨拶を忘れないよ

うにしたいと思います。三日間、子供達からも色々な事を教えて貰いました。本当に、この三日間色々ありがとうございました。来年のインターンシップも、保育所で学んだことを活かして、頑張りたいと思います。

### 2年 高橋 里美(清風荘)



一日目。実習先に出勤し、事務長さんに挨拶をしました。玄関を入った時の気持ちは、不安と緊張で一杯でした。午前は利用者さんの出迎え、会話、集団体操、レクリエーション、昼食準備とオリエンテーションを行いました。午後からは、会話、ブローがけ、おやつ、カラオケ、送迎、折り紙をしました。専門学校の学生さんも居て、利用者の方と馴染むことはできませんでしたが、自分としては積極的に取り組めたと思います。

二日目。利用者さんの出迎えとお茶出し、会話をしました。自己紹介や世間話ができるようになりました。午後は、睡眠をとっている人も居れば、本を読んでいる人や将棋をしている人も居ました。利用者の方から「五目並べしよう」と言われたので、一緒に話をしながらやりました。歴史の話などを聞かせて貰い、勉強になりました。皆がそろい、会話をしたり折り紙を折ったりしました。二日目は、専門学校の学生さんが居なかったのも、

より楽に心を開けたと思います。

三日目は、朝から生憎の雨でした。曜日毎の利用者さんは違いましたが、実習内容は変わりなく、初日より活動できました。私は朝の会話やお茶出しをしましたが、お茶の量が決められている人が居るのを知らずに出してしまいました。気を付けたいと思います。

この三日間の実習で、たくさんのことを学びました。利用者の方の中で、七ヶ宿町のことを知っていたり、知り合いが居たりという方が多いことにビックリしました。三日間とも利用者の方は違うのに、帰りの見送りの時には、「お姉ちゃん、ありがとう。学校でも頑張らいよ。」と励まされ、とても嬉しい気持ちになりました。とても勉強になる実習でした。

### 3年 高野 悠希(船岡自動車整備工場)



僕は車が大好きで、船岡自動車で五日間の実習ができることになりました。去年は別の会社で車の整備をしましたが、三日間の実習で洗車くらいしかできなかつたので、今年はとても楽しみにしていました。船岡自動車の人達は専門学校には行かずに、働きながら資格を取ったと聞き、そういう方法もあるのだと思いました。

この実習を通して学んだことは、仕事をするということは、何ごとにも大きな責任が伴うということです。自動車整備はとても難しいものだけど、やりがいがあり、一人前になるまで多少くらい時間が掛かってもいいと、自分の中で考え方が変わりました。

五日間、色々とやらせていただいて、いい経験になりました。最終日には、仙台の車検場にも連れて行って貰い、とても貴重な経験になりました。ありがとうございました。

この他にも、色々な所に実習に行きました。一部だけですが、写真で紹介します。協力いただいた事業所の皆様、本当にありがとうございました。



仙南サナトリウム



自衛隊



ホワイトストーン